

小平市長 小林正則様

2011年6月3日

小平市が独自に放射線量を計測し公表することを求める要望書

日本共産党小平市議団

日頃の市民本位の市政をめざしてのご努力に敬意を表します。

さて、猫の目のように日々刻々と変わる、福島第一原発の放射能汚染報道に市民は翻弄されていると言っても過言ではありません。東電や政府からの情報提供もこまぎれ、後出し、相次ぐ訂正と、市民は何を信じていいのか、何も信じられないというのが率直なところではないでしょうか。

とりわけ幼い子どもたちへの放射能の影響が心配されます。「直ちに人体に影響しない」と言われても、ではいつ影響が出てくるのか、これから長い期間生きる子どもにはどうなのか、子どもをもつ親御さんの心配や不安は尽きません。空気中よりも濃度が高いと言われる土壌は子どもの遊び場です。また、近々どの学校や教育施設でもプール授業やプール遊びがはじまります。水を飲むこともあり体内被曝そのものとの指摘もあります。

この間、共産党小平市議団ホームページに複数のメールが届き議員個人にも電話が入っています。メール2通添付いたします。市にも届いているかと思いますが、いずれも市で放射線量を計測して公表してほしいというものです。また、校庭やプールの安全を求めるものです。6月議会には同趣旨の請願も出されています。こういう市民の不安の声に応える必要があるとの考えから、党市議団として、以下の要望をいたします。

①放射線の線量計を大至急購入し、当面市内東部・中央・西部で定期的に計測し、結果をホームページで公開すること。ホームページを利用しない人のために、紙ベースでの周知を工夫すること。

②計測ポイントは小学校の校庭とプールとすること

③文部科学省に対し、東京都内全ての小・中学校の校庭の土壌及びプールの放射線量調査を国の責任で実施するように意見をあげること

以上3点です。なお、日本共産党東京都議団が行った小平を含む都内128カ所の調査結果を掲載したホームページには、5/26から5/29日の4日間で10万件を超えるアクセスがあったことを付け加えておきます。

以上